

デジタルサイネージコンソーシアム  
第14回システム部会

2009/6/4



# 本日のアジェンダ

① システム部会勉強会の開催

② デジタルサイネージガイドブック作成

③ 今後のシステム部会活動について

# 第14回システム部会 出欠状況



- 参加/順不同
- KDDI 木村様、清水様
- 日立製作所 白木様
- 興和 市村様、植田様
- サイレックス・テクノロジー 福留様
- 株式会社IMAGICAイメージワークス 喜多村 真様
- 沖電気工業株式会社 後藤 裕久様
- シスコシステムズ合同会社 築瀬様、岩岸様
- セイコーエプソン株式会社 竹内 哲彦様
- 富士通株式会社 畑中様、小山様
- NTTサイバーソリューション研究所 宇高 宏明様
- パナソニック株式会社 窪田 賢雄様
- シャープシステムプロダクト 宮田様
- 三菱電機 吉田様、丸山様
- デルタ電子 窪田 正様
- ブラザー工業 藤岡様
- CTC 鬼頭様
- DSC事務局 小田 16社 22名様

# 本日のシステム部会勉強会

サイレックス・テクノロジー 福留さん

16時10分～16時40分

# 本日のアジェンダ

②デジタルサイネージガイドブック作成

16時40分～17時

# 最終手直し済み

築瀬様

> 1) 目次ですが、ロケーションの章だけがゴシックになっております…他の章と合わせていただければと…

◆→MS明朝に変更いたしました。

> 2) 6.13.7.4 相談コーナーにおける

> 【滞留】分 流動 となっているのは

> 【滞留】60分 の誤りですので、

> 修正いただきたいのですが…

◆→修正させて頂きました。

OTC 鬼頭

ページ74の表において、野外施設に該当するくくりが喫煙所から歩行者天国までですので、枠の修正をお願いします。

◆→修正させて頂きました。

目次を見ますと、ロケーションの見出し文字が他の章と異なっています。文字フォントが異なっているのではないかと思います。

◆→修正させて頂きました。

町田様

■ P11

表3-2-1の「備考」をとる

◆→修正させて頂きました。

■ P22

大型商業施設利用例のイラスト変更

ガイドブックの図が適切ではないので、添付参考に修正できるとよいのですが…参考を添付します。

現行のイラストでは、閑散とした駅といった感じです。

■ P24

最下部の行に赤字あり

◆→修正させて頂きました。

■ P65

表5-2-1 の備考欄をとる

◆→修正させて頂きました。

>小山さん確認です↓

■ P66

携帯のイラストは書き直すのでしょうか？

このまま使用するようでしたら、念のため富士通の小山さんに確認いただいたほうがよいと思います。サンプルとしてつけておられるかもしれません。

富士通 畑中様

中段の「ポスターやチラシ……」行の最後に誤記があります。

「ディスプレイヤ」→「ディスプレイ”や”」

◆→修正させて頂きました。

30ページ

4. 1. 2小規模システム

5行目の「配置されたがネットワーク…」

→「配置された”端末(プレーヤ)”がネットワーク…」

◆→修正させて頂きました。

31ページ

4. 1. 3中規模システム

5段落目の1行目の始まり文字がずれています。

◆→修正させて頂きました。

37ページ

4. 2. 4. 1ユニキャスト

3行目の最後「対応するアプリ配信プロコル」

→「対応する”アプリケーション”配信プロコル」ではないでしょうか？

◆→修正させて頂きました。

46ページ

4. 6スケジュール管理方式

4段落目の2行目

「を持つ必要であるが…」→「を持つ必要”があるが…」

◆→修正させて頂きました。

48ページ

4. 7. 1 管理サーバ

図4. 7. 1のプレーヤの絵が無い。

◆→修正させて頂きました。

49ページ

4/2

4/10

4/13

5/7

5/25

→

6/1

→

6/8

6/9

6/10

チームリーダー会議 (レビュー) (読み合せ)      挿絵会議 (位置+枚数例) パフォーマ      **部会**システム部会 全員に提示      理事に提出      理事会      全会員      DSI

1. 挿絵

↳ サンプル4点 → GO → チェック → 修正 → 納品 → Word組込 5/22

2. 体裁、構成

レビュー反映 5/14 → 合体 5/21 → アクティブメンバー提示 5/22

3. 書式合わせ

アクティブメンバー配布 4/20 → レビュー票締め切り 4/28 → 印刷配布 5/7

6月8日理事会に提出  
 6月9日全会員に配布  
 6月10日～デジタルサイネージジャパンでシステム部会が発表(初日)予定



# 本日のアジェンダ

③今後のシステム部会活動について

17時～18時

昨年11月の部会を振り返り、  
「デジタルサイネージシステムガイドブック」作成の経緯と、  
達成内容を再確認！

デジタルサイネージコンソーシアム

# 第8回システム部会

2008/11/6



# 改名 「システム部会」

- 配信部会の活動をより、範囲を広げ、コンソーシアム内の技術部会として、発展させることを目標として、部会名変更を決定。
- 2008年9月9日より、「配信部会」を改め、「システム部会」に名称変更しました。

# システム部会の目標

- DS市場の活性化
- DSに関わる方の利便性向上
- コンソーシアムの価値向上

8月29日部会にて、各メンバーが再確認しました。

**第8回システム部会**

# 標準システムガイドライン 公開

- 配信部会（システム部会）の活動成果として、標準システムガイドライン（ドキュメント）を公開します。
- 9月30日 会員様向けWebページにて公開。
- 公開先： DSC会員様ページ内、「統計・レポート」
- 今後、一般公開とする方向。

# 標準システムガイドライン 現物



Digital Signage Consortium

## 目次

1	目的	1
1.1	システムガイドライン	1
1.2	インタフェースガイドライン	2
1.3	ガイドラインの拘束力について	3
2	想定システム	3
2.1	想定システムの条件	3
2.2	システム想定機能	3
2.3	想定システム設定の概要について	3
2.3.1	標準システムガイドラインのスコープ	3
2.3.2	想定システムの機能について	3
2.3.3	ストーリーミング型システム	3
3	用語の定義	4
3.1	関連用語の定義	4
4	システム概要	5
4.1	システムの構成	5
5	基本構成例	6
5.1	基本ワークフロー	6
5.1.1	コンテンツ登録	6
5.1.2	プレイリスト/スケジュール登録	6
5.1.3	コンテンツ配信	6
5.1.4	表示確認/実行監視	7
6	機能仕様	8
6.1	検索機能一覧	8
6.2	コンテンツ登録機能	8
6.2.1	検索	9
6.2.2	コンテンツフォーマット	9
6.2.3	コンテンツ属性情報	9
6.3	コンテンツ配信登録機能	9
6.3.1	検索	10
6.3.2	コンテンツ配信時のグループ指定	10
6.3.3	条件	10
6.4	プレイリスト/スケジュール登録機能	10
6.4.1	検索	10
6.4.2	条件	11
6.5	配信管理機能	11
6.5.1	検索	11
6.5.2	条件	11
6.6	コンテンツ表示機能	12
6.6.1	検索	12
6.6.2	条件	12
6.7	割り込み実行機能	13
6.7.1	検索	13
6.8	システム稼働監視機能	14
6.8.1	検索	14
6.8.2	条件	14
6.9	ロケット管理機能	15
6.9.1	検索	15
6.9.2	条件	15
6.10	キーフレーム/キー動作機能	16

# 標準システムガイドラインの成果

- デジタルサイネージシステムに関する用語の定義と、その内容理解を助けるドキュメント。
- ユーザーがシステム導入を検討する際のガイドラインブックとして活用を期待。
- デジタルサイネージシステムが標準的に必要とする機能について解説。
- 標準インタフェースについても解説。

# 今後の活動

- 標準システムガイドライン完成により、部会活動は次ステップに進む。
- 部会メンバーと今後の活動について意見交換（8月29日部会）
- 活動案についての絞込み、方向付けをする。  
（次回10月2日部会にて）

# 今後の活動案(候補)

- ・〇〇型サイネージ等の分類化
- ・DS「成功事例」の調査を進め、リファレンスモデルの構築
- ・海外でのDS成功事例
- ・DS「双方向」モデルを、ケータイやICチップ入りポスターで研究
- ・DS未来モデルの提言
- ・DSタウンでの実証実験
- ・「TVとモニターの違い」等DS用語の機能と定義
- ・P2Pの事例研究
- ・次期標準システムガイドラインに何を乗せてゆくか
- ・バイヤーズガイドの作成
- ・ハード設置ガイドの作成

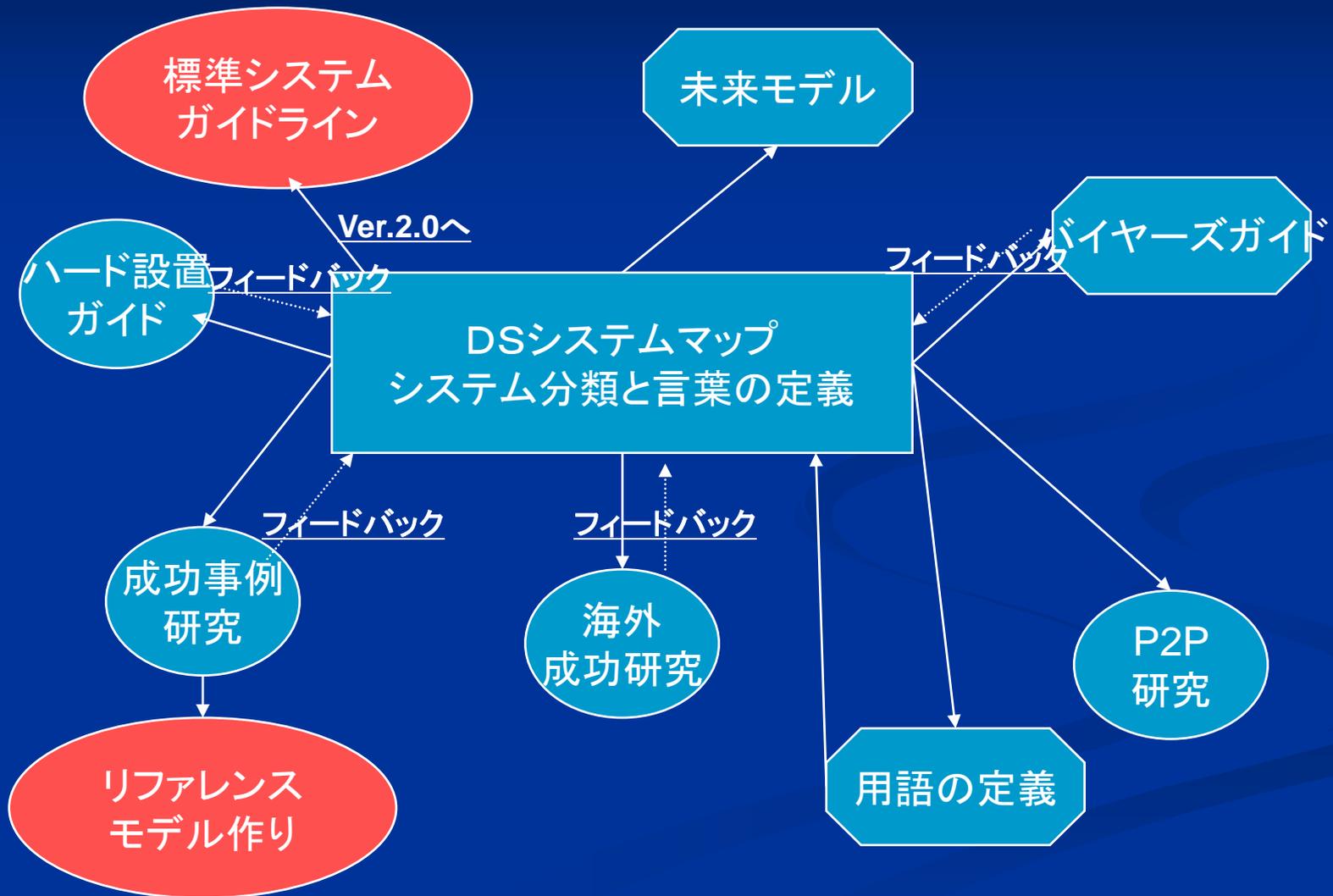
# 活動案ランク付け

	項目	儲かり度	価値	満足	貢献	市場	注目	難易	期間	報告書	費用
1	〇〇型サイネージ等の分類化	B	A	B	B	B	C	B	7回	50P	0
2	DS「成功事例」の調査を進め、リファレンスモデルの構築	B	A	B	C	B	C	B	7回	30P	0
3	海外でのDS成功事例	C	B	C	C	C	C	A	4回	20P	200万以上
4	DS「双方向」モデルを、ケータイやICチップ入りポスターで研究	B	C	C	C	C	B	A	5回	15P	1000万+
5	DS未来モデルの提言	C	A	A	B	B	B	A	6回	15P	100万
6	DSタウンでの実証実験	B	C	C	C	C	B	A	5回	15P	2000万+
7	「TVとモニターの違い」等DS用語の機能と定義	C	C	C	C	C	C	C	4回	10P	0
8	P2Pの事例研究	C	C	C	C	C	C	B	4回	20P	0
9	次期標準システムガイドラインに何を乗せてゆくか	B	B	B	B	B	B	B	7回	40P	0
10	バイヤーズガイドの作成	B	B	B	B	B	B	B	7回	20P	0
11	ハード設置ガイドの作成	B	B	B	B	B	B	A	7回	20P	0

# それぞれの評価をポイント計算

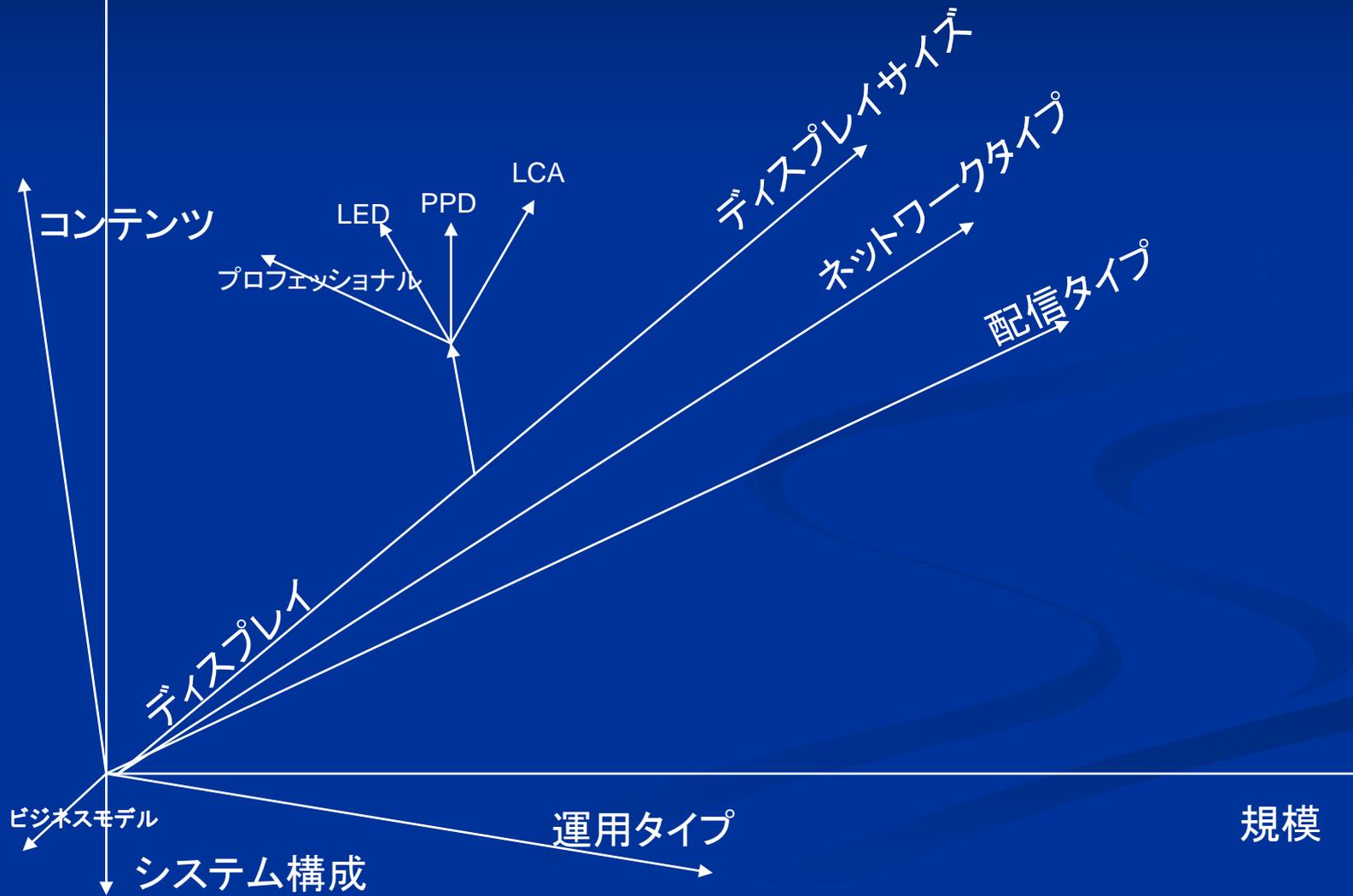
No.	項目	トータル	
1	〇〇型サイネージ等の分類化	26	1位
2	DS「成功事例」の調査を進め、リファレンスモデルの構築	25	2位
3	海外でのDS成功事例	20	
4	DS「双方向」モデルを、ケータイやICチップ入りポスターで研究	21	
5	DS未来モデルの提言	26	1位
6	DSタウンでの実証実験	21	
7	「TVとモニターの違い」等DS用語の機能と定義	21	
8	P2Pの事例研究	20	
9	次期標準システムガイドラインに何を乗せてゆくか	26	1位
10	バイヤーズガイドの作成	26	1位
11	ハード設置ガイドの作成	25	2位

# 活動候補案の関係整理



# DSシステムマップ作り案

利用シーン別



# DSシステムマップ

- DSシステムのシステム種類の整理
- DS用語定義の補助
- DSシステム構成要素の分類と整理
- DS関連技術分野の整理

もとに戻ります！

デジタルサイネージコンソーシアム  
第14回システム部会

2009/6/4



# 活動案ランク付け

	項目		
1	〇〇型サイネージ等の分類化	ガイドブックを作りました	
2	DS「成功事例」の調査を進め、リファレンスモデルの構築	ロケーション部会での活動に期待？	
3	海外でのDS成功事例	勉強会での発表、海外ツアー企画などでフォロー	
4	DS「双方向」モデルを、ケータイやICチップ入りポスターで研究	ガイドブックに記載。今後研究を進めるならば、分科会対応？	
5	DS未来モデルの提言	★これから★	
6	DSタウンでの実証実験	ロケーション部会と連携。	
7	「TVとモニターの違い」等DS用語の機能と定義	ガイドブックで。	
8	P2Pの事例研究	ガイドブックで記載。研究するなら分科会？	
9	次期標準システムガイドラインに何を乗せてゆか	継続検討。次期ガイドラインは未来モデル研究の成果も含めてはどうか	
10	バイヤーズガイドの作成	ガイドブックで記載	
11	ハード設置ガイドの作成	必要性を見直し？ ガイドブックでも一部記載	

# 活動案ランク付け

	項目		
1	〇〇型サイネージ等の分類化	ガイドブックを作りました	
2	DS「成功事例」の調査を進め、リファレンスモデルの構築	ロケーション部会での活動に期待？	
3	海外でのDS成功事例	勉強会での発表、海外ツアー企画などでフォロー	
4	DS「双方向」モデルを、ケータイやICチップ入りポスターで研究	ガイドブックに記載。今後研究を進めるならば、分科会対応？	
5	DS未来モデルの提言	★これから★	
6	DSタウンでの実証実験	ロケーション部会と連携。	
7	「TVとモニターの違い」等DS用語の機能と定義	ガイドブックで。	
8	P2Pの事例研究	ガイドブックで記載。研究するなら分科会？	
9	次期標準システムガイドラインに何を乗せてゆか	継続検討。次期ガイドラインは未来モデル研究の成果も含めてはどうか	
10	バイヤーズガイドの作成	ガイドブックで記載	
11	ハード設置ガイドの作成	必要性を見直し？ ガイドブックでも一部記載	

# 活動案ランク付け

	項目		
1	〇〇型サイネージ等の分類化	ガイドブックを作りました	
2	DS「成功事例」の調査を進め、リファレンスモデルの構築	ロケーション部会での活動に期待？	
3	海外でのDS成功事例	勉強会での発表、海外ツアー企画などでフォロー	
4	DS「双方向」モデルを、ケータイやICチップ入りポスターで研究	ガイドブックに記載。今後研究を進めるならば、分科会対応？	
5	DS未来モデルの提言	★これから★	
6	DSタウンでの実証実験	ロケーション部会と連携。	
7	「TVとモニターの違い」等DS用語の機能と定義	ガイドブックで。	
8	P2Pの事例研究	ガイドブックで記載。研究するなら分科会？	
9	次期標準システムガイドラインに何を乗せてゆくか	継続検討。次期ガイドラインは未来モデル研究の成果も含めてはどうか	
10	バイヤーズガイドの作成	ガイドブックで記載	
11	ハード設置ガイドの作成	必要性を見直し？ ガイドブックでも一部記載	

# 血液型でチーム分け

- A型チーム 9人
  - B型チーム5人+AB型2人
  - O型チーム 5人
- 
- 17時10分～18時

# A型

人によって  
コンテンツが異なる世界  
が街で再現

- 認識技術 しっかり
- インタフェイス ジェスチャー
- 環境の効果 紙に変わるレベル
- サインのDSが拡大 床前面がDS 行き先案内 壁もDS 町中の壁で続きが見れる デジタル時代に！ フォログラム（＝広告効果）
- ネットワーク化 街ディスプレイのジャック
- 続きはWEBでも、タッチしても、垣根の低いものが普及
- AR(オーギュメントリアリティ)メタ情報がデバイスに落ちてリアルタイムに見れる デジタルサイネージ連携
- ウェラブルデバイス MTVを着て楽しむ
- 室内家庭内サイネージ ケータイ、TV、PC以外の画面として必然性があるかも 回覧板 地域の祭り 落ちてくる専用画面
- デバイスの解像度 高画質なものが街に溢れてゆく
- サイン性質も重要 街中＝公共性あるもの、品質があって公共性あり
- 新しい仕掛けとして注目アップ 見る角度によって見るコンテンツが変更
- ディ스플레이の数の統一規格化
- 知りたいこととの情報ギャップが多数 伝えたいこととのギャップ
- 見てることを他人に知られたくない 他の人に操作がわからないデジタルサイネージ

# B型+AB型

- 意見がまとまるわけがない(なりがちな)B型！
- サイネージの本当の顧客とは誰？目的ごとに把握すべきか
- 一級品としてのデジタルサイネージは必要だが、マネタイズさせることとは少し違うかも。現状デジタルサイネージの定着＝人の文化との親和性を考慮して、アプローチすべきか。

# O型

- 20年後のデジタルサイネージとは？
- キーワードは合成と認識
- 未来のデジタルサイネージの世界 必要な情報が適宜「自分だけ」に見える = 認識が働き、合成化されるかも。
- TVはなくなるのか？！ディスプレイも薄く、巻いて持って行けて張れるものに = 場所特定なしの時代か GPSがあれば場所特定可能
- ディ스플레이は電子ペーパー化 = エコ化 電力を使う罪悪感 電力ゼロの会社がえらい社会
- ロボットを研究→デジタルサイネージを研究 例)案内や誘導、必要情報を提供する社会
- メイドさん リアルなメイドより2Dメイドの方がよいかも
- 壁が映像なら、バックグラウンドが随時変更可能に

# 「ギャップ認識」と、それを埋めるためには？！

- デジタルサイネージ未来モデルと現実との乖離
- 映像+音声が主流 > 他の五感
- 情報アウトプットとしてのデジタルサイネージはますます重要となる
- 映画「マイノリティーレポート」の世界が・・・
  - ごっついグローブ作って開始してます
  - 例) ライフウォール(パナソニック社)
- その実現の為には……

# 次回、第15回(09年7月)実施内容案

- キーワード
  - エコ
  - ウェラブル
  - 自分化
  - コンシェルジュ
- 実現には>インタフェース規格の統一
- 現実とのギャップ、テーマの詮索
- フレームワークの設定
  - 場所 コンテンツ、メリット、システム、価格
  - ディ스플레이、サーバ、システムの切り口
  - 仮想モデルのブロック化

# 今後の予定

7月9日(木)第15回システム部会開催

※開催が1週間遅くなりました。ご注意くださいませ！

未来の姿

現実とのギャップ

